

第 68 期

株 主 通 信

（ 2020年 9 月 1 日 から ）
（ 2021年 2 月 28 日 まで ）

暁飯島工業株式会社

2021年5月

株主の皆様へ

暁飯島工業株式会社

代表取締役社長 植田俊二

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第68期上半期（2020年9月1日から2021年2月28日まで）の営業の概況等をご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、ロックダウンや外出自粛要請等によるヒトやモノの移動制限の影響で経済活動の停滞が続いております。また、米中の貿易と投資をめぐる緊張状態の見通しが不確実性を増しており、世界全体で景況感が悪化して経済活動がさらに弱まる先行きが予想されております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は一定の水準を維持しておりますが、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により受注競争が激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。また、長時間労働等、働き方改革及び生産性向上への取り組みは業界全体での課題となっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないうえ、政府建設投資及び民間建設投資の動向、景気悪化による工事の中断等予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比11.6%減少の34億76百万円となり、売上高も前年同四半期比9.9%減少の41億89百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の減少及び工事利益率の悪化などから、営業利益は前年同四半期比26.6%減少の4億11百万円、経常利益も同じく23.5%減少の4億34百万円となりました。最終損益につきましても、前年同四半期比9.8%減少の2億95百万円の四半期純利益となりました。

通期の見通しにつきましては、売上高80億円、営業利益6億10百万円、経常利益6億円、当期純利益4億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会 社 の 概 況 (2021年 2 月 28日 現在)

会 社 名	暁飯島工業株式会社 (英文名称 AKATSUKI EAZIMA CO., LTD.)
設 立	1953年 (昭和28年) 9 月 16日
資 本 金	1,408,600,000円
従 業 員 数	119名
主要な事業内容	① 空気調和、衛生給排水、恒温恒湿、冷凍冷蔵、厨房等建築設備の設計・施工 ② リニューアル工事の調査・設計・施工、ビルの総合診断 (建築、設備、電気) ③ 各種建築設備の保守・点検、定期点検及び常駐メンテナンスサービス ④ 太陽光発電及びその売電、不動産の売買・賃貸
主要な営業所	本 社 : 茨 城 県 水 戸 市 東京支店 : 東 京 都 台 東 区 つくば支店 : 茨 城 県 つ く ば 市

取締役及び監査役 (2021年 2 月 28日 現在)

取 締 役 会 長	荻 津 仁 彦
代表取締役社長	植 田 俊 二
取 締 役	白 石 学
取 締 役	岩 井 淳
取 締 役	長 野 正 紀
常 勤 監 査 役	吉 田 孝 夫
監 査 役	根 本 幸 司
監 査 役	春 日 均

(注) 取締役長野正紀氏は社外取締役、監査役根本幸司氏及び春日均氏は社外監査役であります。

四半期財務諸表

四半期貸借対照表 (2021年2月28日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	6,236	流 動 負 債	3,300
現金預金	3,684	支払手形・工事未払金等	2,519
受取手形・完成工事未収入金等	2,164	一年内返済予定の長期借入金	250
未成工事支出金	123	一年内償還予定の社債	90
そ の 他	293	未払法人税等	131
貸倒引当金	△ 29	未成工事受入金	190
固 定 資 産	3,037	完成工事補償引当金	8
有形固定資産	2,628	賞与引当金	70
建物・構築物	430	そ の 他	39
機械及び装置	328	固 定 負 債	653
土 地	1,866	社 債	130
そ の 他	3	長期借入金	420
無形固定資産	13	退職給付引当金	99
投資その他の資産	395	そ の 他	3
投資有価証券	323	負 債 合 計	3,954
繰延税金資産	26	(純資産の部)	
そ の 他	115	株 主 資 本	5,287
貸倒引当金	△ 69	資 本 金	1,408
資 産 合 計	9,274	資 本 剰 余 金	26
		利益剰余金	4,041
		自 己 株 式	△189
		評価・換算差額等	32
		その他有価証券評価差額金	32
		純 資 産 合 計	5,320
		負 債 純 資 産 合 計	9,274

四半期損益計算書 (2020年9月1日から2021年2月28日まで)
(単位: 百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,189
売 上 原 価		3,494
売 上 総 利 益		695
販売費及び一般管理費		284
営 業 利 益		411
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	3	
投資有価証券売却益	9	
仕 入 割 引	0	
受 取 地 代 家 賃	4	
貸倒引当金戻入額	0	
受 取 損 害 保 険 金	15	
そ の 他	5	39
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	5	
有 価 証 券 償 還 損	1	
投資有価証券売却損	8	
そ の 他	0	15
経 常 利 益		434
特 別 利 益		
国 庫 補 助 金	1	1
特 別 損 失		
固 定 資 産 圧 縮 損	1	1
税引前四半期純利益		434
法人税、住民税及び事業税	121	
法 人 税 等 調 整 額	17	139
四 半 期 純 利 益		295

四半期キャッシュ・フロー計算書 (2020年9月1日から2021年2月28日まで)
(単位: 百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,014
現金及び現金同等物の期首残高	4,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,371

受注及び売上の状況

受注実績（累計）

（単位：百万円）

区 分	2020年9月1日から2021年2月28日まで	
	金 額	構 成 比
設 備 事 業		%
建築設備工事	2,180	62.7
リニューアル工事	1,232	35.5
土木工事	—	—
プラント工事	—	—
ビルケア工事	63	1.8
設備事業合計	3,476	100.0

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

売上実績（累計）

（単位：百万円）

区 分	2020年9月1日から2021年2月28日まで	
	金 額	構 成 比
設 備 事 業		%
建築設備工事	2,240	53.5
リニューアル工事	1,714	40.9
土木工事	—	—
プラント工事	—	—
ビルケア工事	171	4.1
設備事業合計	4,127	98.5
その他の事業		
太陽光発電事業	62	1.5
不動産事業	0	0.0
その他の事業合計	62	1.5
合 計	4,189	100.0

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

株 主 メ モ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月中
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
〔郵便物送付先〕	〒168-8620
〔お問合せ先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載ホームページアドレス (http://www.eazima.co.jp/)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続き用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

